

事業所職員向け 放課後等デイサービス自己評価表（全体）

	チェック項目	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備		
1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	個別活動のスペースが狭いと感じる時はあるため、動きたい児童は小グループで1Fを使い、静と動に分けた活動に取り組んでいる。運動・学習・製作を同じスペースで行う事があり構造化を行っていく。活動や発達課題に合わせて、スペースの確保、分け方に工夫が必要。
2	職員の配置数は適切であるか	職員の配置数は足りている。同じ時間で迎えが重なる場合は職員数が少ないと感じられることはある。また個別対応児童が多い時など、対応が不十分にならないよう、利用児童の予定に即したシフトの作成に取り組んでいる。
3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	2Fへエレベーターがなく階段の為、車いすの対応に適していない。椅子、テーブルの高さ等、児童に合わせた改善は必要。道具・教材のバリアフリー化(子供の状態に合わせて使いやすく)工夫していく。
業務改善		
4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	事業所内で毎月行っている。 意見が出る時と出ないときもある為PDCAサイクルの理解深めるための所内勉強会も行った。職員全員が参画できるシステム作りに取り組む。
5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	毎年実施している。生の声を引き出せる関係性を職員全体で努める。具体的な改善、所内での取り入れを話し合う場を作っていく。
6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	事業所の会報はないが、ホームページにまとめて公開していく。
7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	現在第三者評価は行っていない。
8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	所内で研修計画の時間をとり、質の向上をめざしている。 外部への研修参加も積極的に取り組んでいる。
適切な支援の提供		
9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	初回の面談時に保護者ニーズ、子供のニーズの聞き取りを行い、計画書の作成時期に都度聞き取りによるニーズの確認、評価をし支援について職員で話し合う場を設けている。今後は複数の職員でも、丁寧な聞き取りを行えるよう努めていく。
10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	保護者記入のシートを作成している。今後は必要情報を収集できるよう、職員がわかりやすく、見やすいもので標準化したツールを作成していく。
11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	反省をもとにチームで話し合っている。もっと深く掘り下げていきたい。 (活動のターゲットスキルを明確にしていく)
12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	職員間で毎月話し合いを設けている。ある程度のパターン化は必要。季節に合わせた制作・調理活動を取り入れ、特性に合わせた児童の役割も考えている。季節の行事も学べる活動を意識。壁面、掲示物、図書、玩具を準備し、変化をもたせている、
13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	平日は利用児童の個別支援について話し合っている。主活動としてはイベントに向けた取り組み、準備等行っている。また発達障害の特性に合わせた活動を考えている。平日(短時間でできる活動)休日(平日に行えない少し時間をとる活動)長期休暇(いろんな経験、体験できる活動)に意識。

14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	状況の変化に応じ適宜対応をしている。計画に個別・小集団・集団をも明示していく事を取り入れていく。
15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	朝から当日利用児童の支援の手立ての共有、職員役割分担はできている。教材の準備、やり方についてもう少し具体的に話し合っていく必要がある。
16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	その日のうちに重要なことは管理者に報告している。支援に関する重要な申し送り事項は共有するようにしている。翌日朝礼時に共有を図っている。
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	朝礼時に支援記録を確認し、支援の方向性をまとめている。客観的に記録を心掛け記入している。記録の仕方を学んでいる。当日の記録を確実にとるようにしている。
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	担当者を振り分け必要な時期にモニタリングを行っている。モニタリングを基に支援会議を実施し、次の支援計画につなげるための案を話し合っている。見直し必要性の判断の時間短縮を目指したい。
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	利用者に合わせ支援を行っている。身辺自立、創作活動（自然・季節を取り入れたもの）体験学習（外出等）を自己肯定感を高められるよう努めている。
関係機関や保護者との連携		
20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加しているか	児発管、もしくは管理者含めまた担当職員の参加を優先的にできる範囲で行っている。
21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	送迎時での学校情報、所内情報の共有、学校保護者間のやり取り連絡帳の確認を保護者同意の基行っている所もあるが、未だ混在している。送迎時の事務的対応は出来ている。教職員との連携で学習面での連携がまだまだ不足していると感じている。
22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	現在医療的ケアが必要な児童の受け入れはない。 てんかんを持つ児童に対し、発作時の対応や緊急時の対応病院や主治医を職員がわかるようシートを作っている。薬の増減、薬性はコピーさせてもらい把握に努めている。
23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	途切れのない支援にしていく為もっと連携とれる体制を検討していく。
24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	現在利用児童で相当のケースはない。引き継ぎの仕方について話し合う機会を設けていきたい。 移行支援シートの作成を準備していく。
25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	児童発達支援の職員が講師で行われている研修の参加はあるが、直接的な連携はほぼ取れていない。児発の見学や講師派遣の利用等の案はあるが実施できていない。他機関の連携をさらに深めたい。
26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	地域との関わりとして外出の機会を利用しやり取りの場を増やしている。運動公園の広場や子供文化会館等の利用の際に他の利用児との遊具の共有などやり取りの場面もありサポートしている。
27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	今後の課題。地域の情報を得、地域資源をより良く活用するためにも参加を検討していく。
28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	送迎時やメール、電話のやり取りで日頃から努めている。発達の状況、課題の理解レベルにばらつきがある。保護者のニーズに合わせて、必要がある時来所頂く等じっくり話せる時間を設けていく体制を整えていく。

29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	所内でうまくいった関わりや支援を保護者に伝える事はあるが、指導・教育には至っていない。地域で行われている、障がい・育児に関する研修会の情報を保護者に伝えて学ぶ場の提供も行っていく。
保護者への説明責任等		
30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	利用者負担について見学及び契約時に管理者より行っている。支援の内容は保護者に説明を行っている。運営規定事業所に閲覧できる形をとっている。職員の把握は今後周知を務めていく。
31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	送迎時に直接相談に応じ、都度助言等を行っているが、充分とは言えない。所内で取り入れられる支援は適宜検討している。
32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	保護者交流会として保護者参加型の行事は数回行っているが、保護者同士の連携が図られているのはごく少数と思われる。保護者への意識付けや働きかけに意図を伝えていく必要がある。
33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	苦情受付・対応の担当を決め迅速な対応を心掛けている。苦情があった際は真摯に受けとめて対策を検討し実行している。
34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	月ごとに通信や日々の様子をブログで毎日配信を行っている。
35	個人情報に十分注意しているか	職員として十分に配慮している。守秘義務・個人情報の取り扱いについての勉強会を行い職員間で確認。
36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	連絡帳、送迎時の伝達・やり取りで伝える事に努めている。口頭のみでなく、子供へも同様にメモ化などの配慮もできればと思う。聴障児への情報保障がまだ不十分である。
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	地域の清掃や近所で遊ぶ、買い物をする等、地域参加は行っているが、地域の方を招待する等の交流の機会は出来ていない。
非常時等の対応		
38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	対応マニュアルの保護者への周知が出来ていない。
39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	火災・地震訓練は年2回開催している。不審者避難訓練を検討し行っていく必要がある。訓練時の児童の個別支援を職員全体で話し合いシートにしておくことが今後必要。
40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	所内、講師派遣による虐待防止の勉強会を定期的に行っている。虐待や養育不全を未然に防ぐための家族支援について更に学びを深められるとよいと思う。記録の体制を整える必要がある。
41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	必要な利用児童の保護者へ説明し計画に記載している。組織的に決定できているか検討の必要がある。子供への説明は難しさが感じられる。身体拘束に関する書類整備が必要。行った際の記録をし、保護者には状況を伝えている。
42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	アレルギー調査票を保護者に記入してまとめている。医師の指示所までは頂いてはない。一覧表がすぐ見える場所にあると対応がしやすい。
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	ヒヤリハット事例集をファイルにまとめている。書式を簡易化したい。